

07 くま もと ろう がっ こう 熊本聾学校 (熊本県)

7回目

■演技タイトル/  
釣り船に乗っただけなのに…

■演技内容/コント ■メンバー人数/3人

▼動画はこちら



08 めい せい がく いん こう とう がっ こう 明誠学院高等学校 (岡山県)

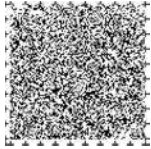
2回目

■演技タイトル/  
窓の外には ~優しい心が一番大切だよ~

■演技内容/歌唱 ■メンバー人数/20人

▼動画はこちら





# チーム演技

## 09 真和志高等学校 (沖縄県)

8回目

■演技タイトル／  
虹色のかぜ

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／17人

▼動画はこちら



## 10 杏和高等学校 (愛知県)

5回目

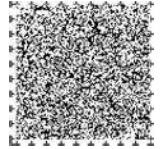
■演技タイトル／  
『食べる・食べられる ～自然共生社会を目指して～』(注文の多い料理店より)

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／11人

▼動画はこちら







# 11 さか ど がく えん 坂戸ろう学園 (埼玉県)

2回目

■演技タイトル/  
ド・レペの小さな学校 ～永遠に紡ぐ～

■演技内容/演劇・ポエム ■メンバー人数/5人

▼動画はこちら



# 12 な ら けん りつ がっ こう 奈良県立ろう学校 (奈良県)

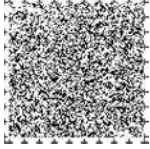
8回目

■演技タイトル/  
空も飛べるはず

■演技内容/演劇 ■メンバー人数/7人

▼動画はこちら





# チーム演技<sup>えんぎ</sup>

## 13 <sup>あお もり ろう がっ こう</sup>青森聾学校(青森県)

初出場

■演技タイトル／  
青盛りだくさん方言～手話で解決～

■演技内容／演劇・コント ■メンバー人数／10人

▼動画はこちら



## 14 <sup>とっ とり じょう ほう こう どう がっ こう</sup>鳥取城北高等学校(鳥取県)

6回目

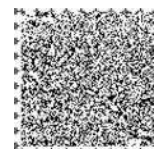
■演技タイトル／  
『手話遊び研究所』

■演技内容／演劇 ■メンバー人数／7人

▼動画はこちら







# 15 横浜南陵高等学校(神奈川県)

4回目

演技タイトル／  
新しい世界へ

演技内容／歌唱・演劇 ■メンバー人数／19人

▼動画はこちら



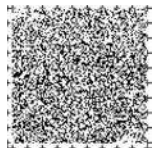
# 地元高校生による郷土芸能

## 日野高等学校 郷土芸能部による「荒神神楽」

古事記でおなじみの八岐大蛇退治(やまたのおろちたいじ)を神楽化した「八重垣能(やえがきののう)」を披露しました。

▼動画はこちら





# バリアフリー対策

障がいのあるなしに関わらず、誰もが楽しめる大会とするため様々なバリアフリー対策を行いました。

## ● YouTubeライブ配信

コロナ禍でも大会を楽しむことができるよう、情報保障(手話通訳・要約筆記・音声ガイド)の充実化をはかり、YouTubeでライブ配信を行いました。

### 【手話通訳・要約筆記の配置】

配信画面中に、分かりやすく、見やすいように、手話通訳・要約筆記を表示しました。

### 【音声ガイド】

ステージの様子を実況しながら伝える「音声ガイド」ありなしの2種類の配信を行いました。



## ● 透明マスクの着用

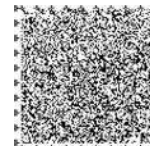
感染症対策を行った上で、コミュニケーションがとりやすい環境となるよう透明マスクを着用しました。



## ● チラシ等への 音声コード添付

チラシ、プログラムなどの配布物に内容を音声で読み取ることができる「音声コード」を添付しました。

# しん がた かん せん しょう たい さく 新型コロナウイルス感染症対策



コロナ禍での大会開催にあたり新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底しました。

## らいじょうしゃ せいげん ● 来場者の制限

会場への来場を、県内の出場チームおよび関係者のみに制限しました。県外の出場チームについては、テレビ会議システムを使い、会場と出場チームをオンラインでつなげ、リモート参加としました。

多目的ホール内の来場者の座席は、前後1列・左右2席空けるなど、三密対策を徹底しました。



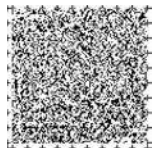
## ちゃくよう けんおん しゅ し しょうどく ● マスクの着用・検温・手指消毒

全ての出演者・関係者・スタッフの体調把握、マスク着用の徹底、検温および手指消毒を行いました。

また、対面したコミュニケーションが行われる受付には飛沫防止として透明パネルを設置しました。







## へい かい しき 閉会式

しん さ いん ちよう こう ひょう

### 審査員長講評



審査員長

しょうざき たかし  
庄崎 隆志

第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園審査員長をしております、庄崎 隆志です。よろしくお願ひ致します。手話パフォーマンス甲子園、こちらに15チームの皆さんが集まっていただきました。本当に素晴らしかったです。皆さん、本当にありがとうございました。

受賞された高校生の皆さん、本当におめでとうございます。15チームどのチームも素晴らしい手話パフォーマンス。リモート審査を行い、無事に審査をさせていただきます。

コロナ禍の限られた時間の中で、本大会に向けて、準備が本当に大変だったと思います。その中でもアイデアを練り、手話パフォーマンスの練習を相当、重ねられたのではないかと感じました。

また、2回目のWEB開催ということで、以前の対面、皆さんに来場していただく方法の発表とはまた違う、また、WEBならではの難しさや緊張感があったことと存じます。

優勝から第3位までの受賞された皆さん、その理由をまず紹介させていただきます。まず、優勝チーム

奈良県立ろう学校の皆さん。2年連続の優勝ですね。すごいです。テーマは「空も飛べるはず」ということで、このペンギンのキャラクターの演技、衣装の工夫、演出もすべてがすごく面白いと思いました。それからブレない演出、演技の強さ、この2つが大きなポイントと思います。それから個人個人のアンサンブルの動きがとても魅力的に、精力的に全身でも使われていて素晴らしい舞台でした。チームの7人が自分らしく自分たちが出来ること、というメッセージを真摯に受け止めて、自分たちのメッセージとして客席に語りかけてくれるような迫力が感じられました。本当におめでとございました。

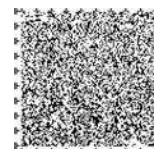
続いて、準優勝チーム。埼玉県、坂戸ろう学園の皆さん。テーマは「ド・レペの小さな学校～永遠に紡ぐ～」というテーマで演じられました。将来、聾学校が減少してしまうその不安感。それを題材にして、この奥深いテーマを演出されました。また、このシンプルでテンポ良く分かりやすい演出をされました。すごく良かったです。演出した5人がそれぞれ聾学校を残したい、という気持ちを、思いを込めて表現してくれました。素晴らしい舞台でしたね。本当におめでとございました。

そして3位、横浜南陵高等学校の皆さん。テーマは「新しい世界へ」。手話の国へ案内してくれる、この演出方法がユーモラスであり、すごく楽しむことが出来ました。すごく伝わってきましたね。そして、最後に楽しい劇っていうところをしっかりと入れて表現してくれました。素晴らしい舞台でした。おめでとうございます。

受賞出来なかったチームの皆さんも素晴らしいパフォーマンスでした。これからもまた、手話パフォーマンスに対する情熱を絶やさず、しっかりと繋げていって欲しいと思います。

最後になりますが、今回、全国高校生手話パフォーマンス甲子園を鳥取県、そして鳥取県聴覚障害者協会、全日本ろうあ連盟、日本財団、また関係者の皆さままで作り上





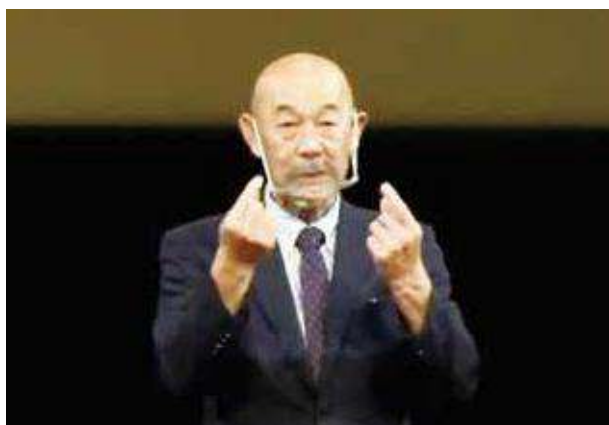
げていただいたこの気持ちに心から感謝申し上げます。

今後、またこちらに来させてもらって、高校生の実際の演技を見せていただいて、そういう舞台が開かれることを祈念しております。これからも手話パフォーマンス甲子園の技を経験を積み重ねていただき、大きく皆さんが成長して舞台の上で発表してくださることを期待しております。以上で講評とさせていただきます。

改めまして、皆さん本当にありがとうございました。

へい かい

## ● 閉会あいさつ



公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長

しも がき あきのり  
**下垣 彰則**

ただ今ご紹介いただきました、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長 下垣彰則と申します。

コロナ禍での練習は集まらない、そして、長時間練習できないなど、さまざまな制限があり、大変だったと思います。そうした困難を乗り越えて、本日の成果に結びついたのだと思います。本当に素晴らしい演技でした。

そして、奈良県立ろう学校の皆さん、優勝おめでとうございます。素晴らしいパフォーマンスでしたね。

そして、準優勝坂戸ろう学園、そして、3位横浜南陵高等学校の皆さん、おめでとうございます。

今年で第8回目となる、全国高校生手話パフォーマンス甲子園は昨年同様WEB配信となりましたが、ご覧になられた皆さま、いかがでしたでしょうか。手話の聖地であるここ鳥取県に全国各地からWEBによるご参加をいただき、誠にありがとうございました。手話言語への理解がますます広まっていることを実感いたしました。

また、佳子内親王殿下のオンラインの手話言語でのご挨拶も大変感動いたしました。

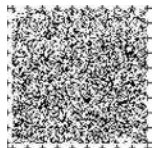
本日出場の15チームの皆さんの激戦を見て、感動し、エネルギーが伝わり、涙を抑えきれませんでした。きこえないときこえる人が共に見て楽しめる、手話言語によるパフォーマンスは 本当に素晴らしいものでした。

皆さんのその情熱を胸に、来年もぜひ挑戦して欲しいと思います。また、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。今後も皆さんと共に楽しめる、全国高校生手話パフォーマンス甲子園であり続けたいと思います。

本日は誠にありがとうございました。

以上を持ちまして、第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を閉会と致します。

来年も、ぜひお会いしましょう。ありがとうございました。



# こう りゅう かい 交流会

本大会に出場する15チームが、テレビ会議システムでつながり、交流を行いました。

## ● にち じ 日時

令和3年10月2日(土) 14:30~16:00

## ● かいじょう 会場

米子コンベンションセンター 第1・2・3会議室  
(鳥取県米子市末広町 294)

## ● さん か しゃ 参加者

約150名

手話パフォーマンス甲子園出場チーム

司会

・応援サポーター



根本 ころも  
(青翔開智中学校・高等学校)

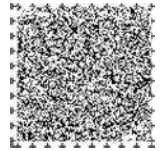


繁田 聖宙 (倉吉西高等学校)



荒木 歩果 (米子西高等学校)





## こうりゅうかい ようす 交流会の様子

### ・ 出場チーム抱負発表



### ・ 交流時間

3つのグループに分けて、交流しました。

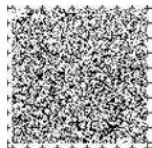


### ・ 集合写真

最後に参加者全員で記念撮影を行いました。







# よ せん しん さ かい 予選審査会

## ● 日時

令和3年7月29日(木)及び30日(金)

## ● 会場

鳥取県庁特別会議室

## ● 審査員(4名)



ろう者

しょうざきたかし  
**審査員長:庄崎 隆志さん**  
演出家・俳優



ろう者

おおたけこうじ  
**審査員:大竹 浩司さん**  
全日本ろうあ連盟副理事長



聞こえる人

かどひでひこ  
**審査員:門 秀彦さん**  
絵かき



聞こえる人

たなかだいすけ  
**審査員:田中 大介さん**  
鳥取大学地域学部 准教授

## ● 審査方法

各チームから提出を受けたパフォーマンス映像(3分以内)について、審査員4名により審査を行い、本大会に出場する15チームを選出しました。



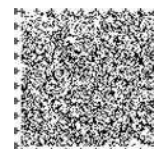
審査会の様子

## ● 審査結果は全国へ配信

7月30日(金)に、結果発表及び本大会発表順などの発表を行い、その様子を全国に向けてインターネットにてライブ配信しました。



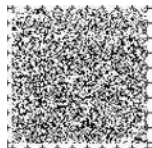
ライブ配信画面・映像の様子



## よ せんさん か 予選参加チーム

第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に向けて、27都道府県から53チーム(54校)の参加申込みがありました。

ブロック名	学校名	
北海道・東北 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭栄高等学校(北海道)</li> <li>・青森山田高等学校(青森県)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森聾学校(青森県)</li> </ul>
関東 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常総学院高等学校(茨城県)</li> <li>・坂戸ろう学園(埼玉県)</li> <li>・日出学園高等学校(千葉県)</li> <li>・大泉桜高等学校(東京都)</li> <li>・正則学園高等学校(東京都)</li> <li>・足立東高等学校(東京都)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潤徳女子高等学校(東京都)</li> <li>・豊南高等学校(東京都)</li> <li>・クラーク記念国際高等学校 東京キャンパス(東京都)</li> <li>・横浜南陵高等学校(神奈川県)</li> </ul>
中部 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田鶴浜高等学校(石川県)</li> <li>・金沢北陵高等学校(石川県)</li> <li>・啓新高等学校(福井県)</li> <li>・身延山高等学校(山梨県)</li> <li>・岡崎東高等学校(愛知県)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修文女子高等学校(愛知県)</li> <li>・菊華高等学校(愛知県)</li> <li>・桜花学園高等学校(愛知県)</li> <li>・杏和高等学校(愛知県)</li> <li>・古知野高等学校(愛知県)</li> </ul>
近畿 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都八幡高等学校南キャンパス(京都府)</li> <li>・日星高等学校(京都府)</li> <li>・扇町総合高等学校(大阪府)</li> <li>・昇陽高等学校(大阪府)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴尾高等学校(兵庫県)</li> <li>・奈良県立ろう学校(奈良県)</li> <li>・聖心学園中等教育学校(奈良県)</li> <li>・橋本高等学校(和歌山県)</li> </ul>
中国・四国 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取城北高等学校(鳥取県)</li> <li>・琴の浦高等特別支援学校(鳥取県)</li> <li>・青翔開智中学校・高等学校(鳥取県)</li> <li>・米子東高等学校(鳥取県)</li> <li>・境港総合技術高等学校(鳥取県)</li> <li>・鳥取聾学校(鳥取県)</li> <li>・米子高等学校(鳥取県)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明誠学院高等学校(岡山県)</li> <li>・岡山県美作高等学校(岡山県)</li> <li>・津山高等学校(岡山県)</li> <li>・ノートルダム清心高等学校(広島県)</li> <li>・聖光高等学校(山口県)</li> <li>・尽誠学園高等学校(香川県)</li> <li>・済美高等学校・松山聾学校(愛媛県)</li> </ul>
九州・沖縄 ブロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三井高等学校(福岡県)</li> <li>・熊本聾学校(熊本県)</li> <li>・高森高等学校(熊本県)</li> <li>・大分東明高等学校(大分県)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出水中央高等学校(鹿児島県)</li> <li>・向陽高等学校(沖縄県)</li> <li>・真和志高等学校(沖縄県)</li> <li>・読谷高等学校(沖縄県)</li> </ul>



# こう ほう 広報

こうこく

## ● 広告など

- ・日本海新聞／記事体広告（2回）
- ・日本海新聞／うさぎの耳 1ページ（1回）
- ・日本海テレビ／開催告知テレビCM 15秒（54回）
- ・日本海テレビ／情報番組「スパイス」にて告知
- ・日本海テレビ／24時間テレビにて告知
- ・FM山陰／開催告知ラジオCM 20秒（5回）



開催告知テレビCM



日本海新聞／うさぎの耳



情報番組「スパイス」

## ● チラシなど



A4版チラシ 参加チーム募集編



B1版／B2版ポスター



A4版チラシ 本大会開催PR編



横断幕

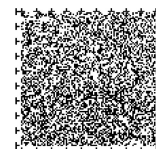
のぼり／卓上  
大会紹介用



懸垂幕







## ● ホームページ・SNS えすえぬえす

公式ホームページサイト、Facebook、Twitter、LINE、YouTubeを活用し、大会情報など随時発信しました。  
また、LINEスタンプを販売しました。

## ● 手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル しゅわ こうしえん どうが …… チャンネルはコチラ▶

<https://www.youtube.com/user/skoushien>



### ・ YouTube動画



大会開催編

出場チームによる  
大会PR編

大会ダイジェスト編

### ・ YouTubeでのライブ配信



7月30日(金)  
予選審査結果発表

10月3日(日)  
本大会

## ● 大会ダイジェスト番組 たいかい ばんぐみ

第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に出場する高校生の青春模様をはじめ、大会の結果や魅力、感動を伝える総集編番組を制作、放送しました。

・ 放送日／日本海テレビ 令和3年11月14日(日)16時30分～17時30分

・ 番組名／手話で届ける、私たちの元気!勇気!本気!  
第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の記録

・ 司会／

・ ナビゲーター／



たつ はんどうさん  
TATSU(HANDSIGN)さん



なかお まあり  
中尾 真亜理さん  
日本海テレビアナウンサー



こいくち はるき  
鯉口 悠生さん  
鳥取聾学校

・ レポーター／



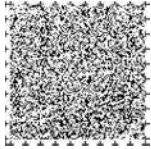
ねもと  
根本 ころろさん  
青翔開智中学校・高等学校



しげた せいら  
繁田 聖宙さん  
倉吉西高等学校



あらかし ほのか  
荒木 歩果さん  
米子西高等学校



# 第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

## 本大会審査実施要領

### 1 概要

- (1) 日程 令和3年10月3日(日)  
 (2) 場所 米子コンベンションセンター(鳥取県米子市)

### 2 審査員

審査員は、ろう者3名及び聞こえる人3名の計6名とし、このうち1名を審査員長とする。

### 3 審査方法

5の採点方法に基づき、各審査員が各チームの演技を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

### 4 演技時間等

- (1) 演技時間は、6分以上8分以内とする。  
 (2) 演技は、司会者が「どうぞ」と演技開始の声掛けを行ったときから開始し、生徒の「ありがとうございました」の手話表現をもって終了する。  
 (3) 各チームの演技時間の実績は、主催者が計測した時間とする。なお、演技時間の開始及び終了のタイミングは、(2)に基づき(不明確な場合も含め)主催者が判断することとする。  
 (4) 舞台上に演技時間の経過を示すライト(4色カラー)を設置する。カラー表示は以下のとおりとする。

・演技開始後	→ 白
・6分経過(演技時間下限到達。残り2分前)	→ 青
・7分30秒経過(残り30秒前)	→ 黄
・8分超過(演技時間上限超過)	→ 赤

- (5) 演技の準備時間は、概ね1分以内とする。  
 (6) 演技は舞台上の定められたエリア内で行うこと。また、演技者である生徒以外が舞台に立つことは認められない。なお、障がい等により、演技を行う際に補助が必要な場合は、舞台の下や袖から補助動作を行うことは認める。(合図を出す、リズムを示す、音声通訳を行う 等)

### 5 採点方法

- (1) 各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

審査員	手話言語の正確性・分かりやすさ	演出力・パフォーマンス度	合計
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
ろう者	30点満点	30点満点	60点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
聞こえる人		40点満点	40点満点
合計	90点満点	210点満点	300点満点

- (2) 各審査項目の採点の観点は次のとおりとする。

#### ア 手話言語の正確性・分かりやすさ

手話言語が正しく表現されているか。顔の表情も使って、分かりやすく表現されているか。演技者が表現したい内容が手話言語で伝わり、理解できるか。

#### イ 演出力・パフォーマンス度

チームとしての一体感があるか。機知に富み観客を魅了する表現力、ひたむきさがあるか。演技者が込めた思いやメッセージがしっかりと伝わってくるか。構成や演出がよく工夫されているか。演技の構成がスクリーンの表示に頼りすぎたものになっていないか。

- (3) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議(減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。)により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項目	内容	
	差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
	第三者の権利を著しく侵害する内容が含まれる場合	失格
	演技者である生徒以外の者が舞台上に立ち入り、演技又は演技の補助を行った場合	20点減点
	定められた演技時間の上限を超過した場合(例:8分を超え8分30秒まで △10点、8分30秒を超え9分まで △20点)	超過30秒ごとに10点減点
	定められた演技時間の下限(6分)に達しなかった場合	10点減点
	演技上のセリフや手話言語に対応した字幕の表示が不十分な場合	10点減点
	その他、定められたルールに反した場合※	5点減点
	その他、不適切と認められる演技又は行為	失格又は減点

※「その他、定められたルールに反した場合」とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、特に審査等に影響がないと判断される場合は除く。

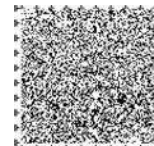
- ・1分を大幅に超えて準備に時間を要した場合。
- ・スクリーンに表示する内容に動画を使用した場合。
- ・舞台上の定められたエリア以外で演技を続けた場合。
- ・演技終了の合図(「ありがとうございました」の手話表現)を全く行わず、演技を終了させた場合。

### 6 表彰チームの決定方法等

- (1) 優勝、準優勝及び3位は、審査得点の順により決定する。  
 (2) 審査得点が高点となり、順位を審査得点で決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。  
 ア「手話言語の正確性・分かりやすさ」の審査項目の高いチームを上位チームとする。  
 イアが同点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。  
 ウイが同点の場合は、審査員長が順位を決定する。  
 (3) 審査員特別賞は、審査員で協議の上、審査員長が決定する。  
 (4) 全日本ろうあ連盟賞は、全日本ろうあ連盟が決定する。  
 (5) 日本財団賞は、日本財団が決定する。  
 (6) 鳥取県聴覚障害者協会賞は、鳥取県聴覚障害者協会が決定する。  
 (7) その他、上記受賞チーム以外の方の本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

### 7 結果通知及び公表

- (1) 大会終了後、各チームに対し、審査得点、順位及び審査員評(審査員名は非公開)を送付する。  
 (2) 本大会出場チームについて、チーム名及び審査得点(優勝、準優勝及び3位に限る。)を、大会公式ホームページに掲載する。



# 手話パフォーマンス甲子園実行委員会

じつこういんかいいん

**実行委員会委員**【オブザーバー】内閣府、厚生労働省、文部科学省

※令和3年11月末日現在

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
会長	鳥取県知事	平井 伸治
委員	一般財団法人全日本ろうあ連盟 本部事務所長	倉野 直紀
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事長	下垣 彰則
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部 支部長	横原 理恵
	鳥取県商工会議所連合会 会長	兎嶋 祥悟
	鳥取県教育委員会 教育長	足羽 英樹
	鳥取県福祉保健部長	中西 眞治
相談役	日本財団 理事長	尾形 武寿

かんじ

**監事**

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
監事	鳥取県立鳥取聾学校 事務長	廣坂 麗子
	鳥取県会計管理局会計指導課長	古田 慎一

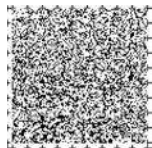
きかくすいしんかいぎいん

**企画推進会議委員**

役職	所属・役職名	氏名(敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局長	丸山 真治
委員	国立大学法人筑波技術大学 講師	小林 洋子
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	吉田 航
	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼教育・文化委員会委員長	戸羽 伸一
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 常務理事	野間田 憲昭
	鳥取県教育委員会 教育次長	中田 寛
	鳥取県高等学校長協会 会長	岩田 直樹
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	二階堂 茂夫
鳥取県立鳥取聾学校 校長	秋田 易子	



▼目の不自由な方の  
ための音声コード



## 第8回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 実績報告書

- 主催／手話パフォーマンス甲子園実行委員会
- 共催／鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会 ●特別協力／一般財団法人 全日本ろうあ連盟
- 後援／内閣府、厚生労働省、文部科学省、米子市、手話を広める知事の会、全国手話言語市区長会、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、公益社団法人全国高等学校文化連盟、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団、社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、一般社団法人日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、日本赤十字社鳥取県支部、鳥取県青少年赤十字指導者協議会、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK 鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK さんいん中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM 鳥取、DARAZ FM

●協賛／  **AKASHI S.U.C.**

大塚製薬

 **すなば**  
SUNABA COFFEE

TOTTORI  
BANK

 鳥取銀行

 山陰合同銀行

 株式会社 不二家システムセンター

 **大山どり**

 **TIC** 株式会社 鳥取県情報センター

 **マルサンアイ** 鳥取株式会社

 **AEON**

 共和薬品工業株式会社  
KYOWA Pharmaceutical Industry Co., Ltd.

 **マルイ**

●特別協賛／  
Supported by  
 **日本財団**  
THE NIPPON  
FOUNDATION

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地(鳥取県 福祉保健部 ささえあい福祉局 障がい福祉課内) TEL.0857-26-7682 FAX.0857-26-8136

<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>